

# 子育てチャンネル

いきいき・わくわく塾講師  
三原 真琴  
MAKOTO MIHARA



私は、例えば見知らぬ人と道端で行き合いすれ違う時でも唯、黙ってやり過ごすことが仲々できません。あの一種独特の間のわるさとてもいいと思います。か、相手をおもんばかる、見極めるといいますか、どこの誰？なにか言われるのか、危険はないかなど...そして行き違う何秒かのなんとも言えない気不味さ。それが我慢できずに挨拶とまでいかずとも、「こんにちば」「こんばんは」「あるいは、風が強いですね」「今日はすずしいですね」などあり合わせの言葉を口にするのです。

相手は怪訝な顔で見返したり不思議そうに首をかしげたり、はてはぼけ老人かと哀れみのまなこで見詰められたりします。かと思うと嬉しいことに先に挨拶されてしまったかというように即座に言葉を返してくれる方もおられたり逆に先手を取られたりという場面もしばしばあります。

今は列車に乗っても同じ方向ですからあまりその心配もありませんが以前は必ずといっていいほど相手と向かい合って座りますのでずいぶんと苦労したものでした。また偶然にエレベーターに見知らぬ人と2人きりとか混み合っているレストランで相席とかもありません。

そんな時皆さんはどうしていらしたのでしょうか。まさかガンをつける人はいないでしょうか...ジロジロ相手をみるわけにもいかず、かといって顔をそむけているわけにもいかず、チラチラと見て見ない振りをする程度のことではないでしょうか。そんな時言葉をかけてみてはいかがでしょうか。ずいぶんと楽になると思います。ただ会話が続くかどうかは、相手と皆さんの努力次第ということになります。

さて街中に戻りましょう。私は町内町外誰かまわらずに出会う方々に挨拶を振りまき、声をかけたりしますが、なかにはそれを迷惑に感ずる人もおられます。しかし別に喧嘩を売っているわけでもありませんし、それ以上親しくしようとも思いませんがお互い行き合うこともなにかの縁と考え気持よく挨拶することが人としての務めかなあと思っています。

こんなことがありました。車で新聞配達をしている若者がいます。犬の散歩で玄関先で鉢合せした時があります。「お早よう」「苦労さん」返事があります。次の時は小走りで新聞をかかえている時、「お早よう」やはり無言でした。急いでいるからかなあ、2、3日後やつぱり声無し、そうこうして一週間程過ぎました。待ちに待った挨拶が返ってきました。「お早ようございませう。次の朝から向うから挨拶してくれました。その嬉しかったこと、いうまでもありません。」

早朝のごみ袋出し、大雪の朝の互いの除雪、吹雪の日の街中。

暑い汗だくの道、家の草取りの通りすがり、バス停の待ち合わせ、店先でバツタリなどなど少しでも顔を合わせたことのある人なら気軽に言葉をかわせるはずなのですが現実はずうでもなさそうです。無愛想な人、無口な人、あまりお付合が好きな人、気難しい人...ご機嫌のわるい人いろいろ様々ですが、1回や2回愛想されなくたってこれにめげず幾度でも声を掛けていくつちに3回に1度、5回に2回と挨拶が返ってくるようになるものです。

みるところ小学校低学年以下の子供達がよく挨拶してくれますが次第に

## 穏やかで親しみのある町づくりのために (人の和はあいさつからはじまる)

三原 真琴 みはらまこと  
いきいき・わくわく塾講師  
いきいき・わくわく塾  
町教委・東子連主催で高齢者が子ども達に伝授する講座や、高齢者と子ども達が一緒に学ぶ講座が年間概ね7講座開催される。  
講師には町内の芸術家や学識経験者などがあつている。

